

第7回

WEATHER-Eye オープンフォーラム

特殊気象による航空機被害とその対策
過去から学ぶ

基調講演

13:05-14:50

司会：佐藤 陽祐 氏（北海道大学）

「火山灰による航空機被害の経緯と今後の課題」

小野寺 三朗 氏（NP0 法人火山防災推進機構）

「雪と航空機の運航」

満 満男 氏（気象庁航空交通気象センター首都圏班）

「小松空港周辺における冬季の航空機被雷について

～金沢事故の教訓を活かした雷研究の五十数年の歩み～」

道本 光一郎 氏（元防衛大学）

一般講演

15:10-16:50

司会：坪井 涼 氏（大同大学）

東京理科大学

防災科学技術研究所

株式会社ソニック

宇宙航空研究開発機構

三菱重工業株式会社

山本 誠 氏

平島 寛行 氏

伊藤 芳樹 氏

宮木 博光 氏

池松 隆 氏



オンライン開催（Zoom）

参加費無料
定員 500 名

2022.12.6 火

12:30 から入室可 13:00-17:00 配信

配信 URL：事前参加登録者に別途電子メールでご案内

後援 / 協賛

国土交通省、文部科学省、CARATS
航空交通管制協会、電気学会、土木学会
日本ガスタービン学会、日本機械学会
日本気象学会、日本技術士会、日本光学会
日本航空宇宙学会、日本航空宇宙工業会
日本航空機操縦士協会、日本航空技術協会
日本雪氷学会、日本複合材料学会（すべて予定）

公式 HP にて事前参加登録

受付期間

11.1 ㊦ 12:00 ~ 12.6 ㊦ 12:00

<https://www.weather-eye.jp/event/weye2022.html>



主催 / お問い合わせ

気象影響防御技術（WEATHER-Eye）コンソーシアム事務局
info@weather-eye.jp



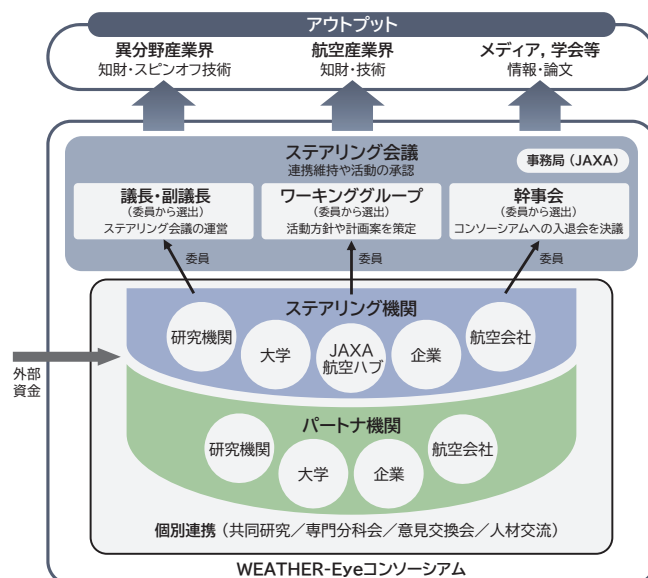
航空機の安全・運航効率の向上へ

WEATHER-Eye コンソーシアム

コンソーシアムには、運航会社・メーカー・大学・研究機関が集まり、航空工学の枠を超えて様々な分野の知見を糾合したイノベーションをオールジャパン体制で推進しています

活動の一環として、気象影響防御技術の研究開発の指針とする我が国としてのビジョンも策定しています

- 2015 年
気象影響防御技術の研究開発 取り組み開始
- 2016 年 1 月 15 日
気象影響防御技術の研究開発に関する連携協定 締結
気象影響防御技術コンソーシアム 設立
(別称: WEATHER-Eye コンソーシアム)
- 2019 年 11 月改訂 (2016 年 10 月初版策定)
WEATHER-Eye ビジョン
- 特殊気象から航空機を守る技術の開発と展望 - [第3版]



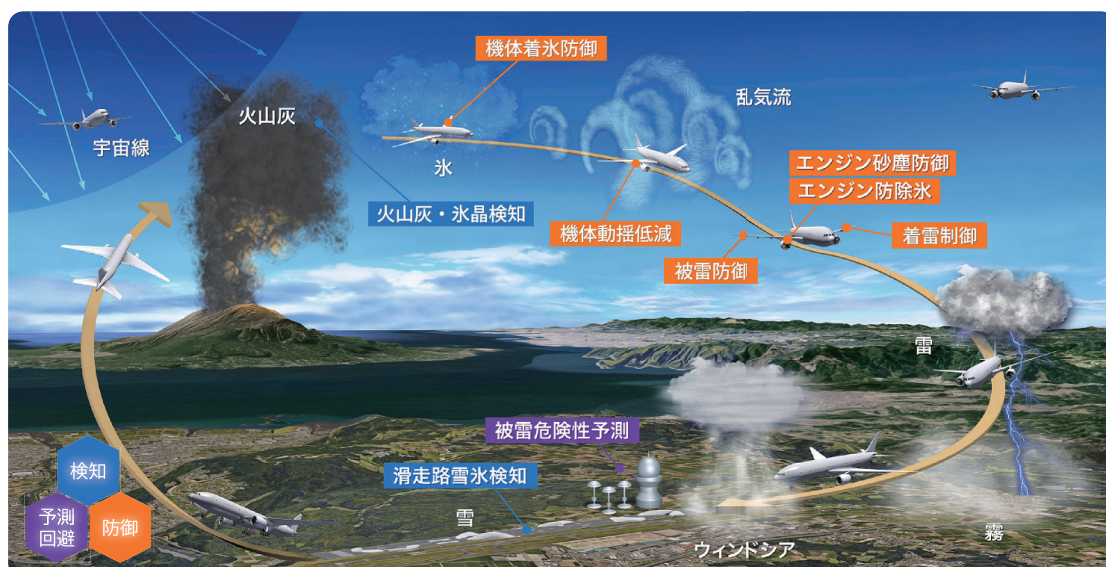
加盟機関 (全45機関) 2022.8 時点 ※五十音順

ステアリング機関 (23)

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
国立大学法人大阪大学
神奈川工科大学
関西大学
気象庁気象研究所
国立大学法人北海道国立大学機構北見工業大学
国立大学法人熊本大学
株式会社 JAL エンジンエアリング
株式会社 SUBARU
株式会社センテシア
全日本空輸株式会社
双日株式会社
国立大学法人東京大学
国立大学法人東京農工大学
学校法人東京理科大学
国立大学法人東北大学流体力学研究所
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
国立大学法人名古屋大学ナショナルコンポジットセンター
日本航空株式会社
日本特殊塗料株式会社
国立研究開発法人防災科学技術研究所
首都圏レジリエンス研究推進センター (部署名変更手続き中)
丸紅エアロスペース株式会社
国立大学法人山形大学

パートナー機関 (22)

アドバンスソフト株式会社
株式会社 ikura AI
株式会社ウェザーニュース
AeroEdge 株式会社
エスベック株式会社
株式会社エムティーアイ
札幌市立大学
株式会社 JALUX
株式会社ソニック
大同大学
DoerResearch 株式会社
日本アビオニクス株式会社
日本ペイント・サーフケミカルズ株式会社
福井県
古野電気株式会社
北海道エアポート株式会社
北海道大学大学院理学研究院
三菱重工業株式会社 民間機セグメント 事業開拓室
三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
三菱電機ソフトウェア株式会社
メトロウェザー株式会社
山田技研株式会社



特殊気象 (雪氷・雷・火山灰・乱気流等) から航空機を守るため、機体・滑走路の状態や気象状況を検知し、予測・防御する気象影響防御技術



公式 HP はこちら
www.weather-eye.jp/